

♫ 木の芽だ 桜だ 丘の上～の園歌より…

丘のうえ

第116号

平成27年8月15日発行

発行・編集／東遠学園組合

URL:<http://toengakuen.jp/>

東遠学園在籍者数 児童部20名、青年部24名 グループホーム3名

東遠地区生活支援センター登録者数110名

こども発達センターめばえ通園児109名 こども発達センターみなみめばえ通園児93名



平成二十七年七月二十五日、第二十八回西方地区センターまつりが開催されました。

今年度は、東遠学園児童部の入所児童と職員が参加しました。自主製品とジュースの販売では、普段とは違った顔で、真剣に売る様子があり、売れる毎に、ニコツと笑顔があふれました。そして、堀之内小学校に通う児童2名はソーラン節踊りへ参加し、大いに盛り上がりました。また、毎年恒例になっているステージでのカラオケは、放課後や土日の余暇で練習した大好きな曲を観客の前で熱唱し、大きな拍手を頂きました。

まつりに参加した児童それぞれの良い笑顔が見られたことがとてもうれしかったです。



東遠学園組合

「今年度の取り組み」

平成二十七年が始まり四力月がたちました。この間にも利用される方の様々なニーズと日々向き合いながら、関係機関と連携を図っています。

今年度は、組合基本構想第三期の始まりの一年です。昨年度まで考えてきた色々なことを実践していくために、一つひとつ具体化しながら進めていきます。

【乳幼児期】

社会全体の核家族化は進み、ますます育児支援が求められています。発達に心配を抱える子供たちのある家庭に於いては、早期介入により、健全な親子関係の支えとなり、個々のケースに合わせた子育て支援の構築を、関係機関との連携のもと図ります。

また、子ども子育て新制度を受け、めばえ・みなみめばえにおける支援体制を検証していきます。

【学齢期】

児童部においては、小規模体制を推進し、自発的な生活を心がけます。心のケアと共に生活のスキルを学び、将来の自立に向けた支援をしていきます。

児童期の日中一時支援を児童部から生活支援センターに移し、放課後等デイサービスや居宅事業と一体化して、在宅支援の拠点化を図っていきます。

【青年期】

思春期の荒れる心に寄り添いながら、一人一人の特性を踏まえた実践を展開します。行動障害に隠れる利用者の思いを受け止め、不適応行動の軽減に努めます。

【乳幼児期・青年期】

相談支援専門員を軸に地域をつなぎ事業を結ぶ役割を担っていきます。

また、権利擁護の視点から学園内で権利擁護委員会を設置し、支援の質を確保していきます。

【安心して暮らす将来の為に】

入所施設の児童部に於いては、平成二十四年の児童福祉法の改正により『在所期間延長廃止規定』が定められ、平成三十年三月三十一日を期限に二十歳での卒園が求められます。青年期への移行というところで、実施主体も県(児童相談所)から市町に変わっていきます。それぞれに必要があつて児童部を利用してはいる子ども達の多くは、家庭復帰が困難です。福祉を損なうことのないよう、この地域に安心して暮らせる場を確保していく必要があります。そんな思いで、

児童相談所をはじめ、各市町の担当者が集まり話し合いを始めていきます。

三十年三月三十一日という期限もあるため、今年度はそこに向けた見通しが持てるよう関係機関と連携をしていきます。

めばえ・みなみめばえに関わる子ども達、児童部、青年部、グループホームを利用している方、東遠地区生活支援センターを利用する方、そして生活介護を利用している方…今年度も多くの方たちと関わらせていただきます。どんな小さな悩みにも耳を傾け、関わる皆さんの笑顔にたくさん出会えることが、職員一同の願いです。よろしく願います。

施設支援課長 杉原充子



第三十一回 療育講演会

『四・五歳児の発達とともに学
ぶ育ち合う集団づくり』

「指導が難しい」子どもの願いに
寄り添う

去る七月四日(土)、掛川市文
化会館シオーネにて療育講演会
が開催されました。保育士や幼
稚園教諭、福祉施設職員、行政
関係職員等を対象に行っている
講演会で、四百名以上の参加が
ありました。

今回は、京都府立大学公共政
策学部福祉社会学科 服部敬子
先生をお招きし、四・五歳の育
ちをテーマに講演をして頂きま
した。

発達をどのように捉えるのか

服部先生は、発達を捉える時
に年齢だけで、何歳でできる
と理解していると、一歳児なの
にという子どもへの捉え方にな
ってしまいがち。しかし、ハイ

ハイして、つかまり立ちしてと
いうように土台となる力があつ
て歩くという到達点があるとい
うように育みたい力を獲得する
までの繋がり(たての繋がり)
を保育士が理解することが大切
である。保護者と子どもの姿を
お話する時に今の姿と以前の様
子(土台となる力)とで個々の
成長を伝えながら、今後つけて
いきたい力(到達点)や発達へ
の願いを伝えやすいこと。もう
ひとつ、よこの繋がりとして、
からだ―手先の操作―認知・言
葉―対人交流(共感する気持
ち・憧れ)等の力が備わってく
ると自我の発達に結びついたり
する等たての繋がりによこの繋
がりの中で力を育んでいくこと
を学びました。

りな姿」の奥に発達上の願いが
汲まれている。
その子自身しんどさも大きく
周囲に行動を理解されにくい。
だからこそ、私たち保育者は、
発達の順序性を理解して保育や
療育をする大切さを改めて感じ
ました。



特別扱いと配慮の区別は?

保育の中で個別対応に限界が
ある。気がかりの子の増加。気が
かりな子を面白がって仕掛ける
子への対応は等どう考える等集
団づくりのポイントが話されま
した。

例えば、絵本の時間に決まって
〇ちゃんが出て来る時に、保育者
がその子の好きな物を読む等、ル
ールを決めていたら、特別扱いに
なるが、〇ちゃんの行動をクラス

皆で考えていったら、子どもの中
から「〇ちゃんの好きな本読んで
やってもいいよ。」の声が出てく
る。〇ちゃんに必要な対応だと子
ども同士の中で気づく。合意の中
で、特別扱いではなくなっていく
という考え方を学びました。

又、今、スポットライトをあて
ることが必要な子のニーズに応
え、保育者が仕掛けていく中で、
大人の受け止めだけでなく、友達
の受け止めによる信頼感が重要
で、子ども同士で認められる実感
が気がかりな行動を変え、その子
自身を変化させていくことに繋
がることも知りました。

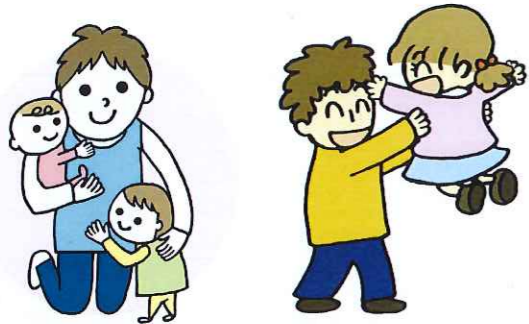
明日からの保育のヒントが沢
山ちりばめられた講演でした。

こども発達センター

みなみめばえ

鈴木克枝





父親保育参加日 ~ウォークラリー~

めばえ・みなみめばえ 6月7日(日)



●めばえ●

気持ちの良い風を感じながら、杉谷公園を目指して今年も歩いてきました。坂道のあるコースでしたが、登りきったところには大好きなアンパンマンやどきんちゃんが待っていてくれ、タンバリンに「タッチ！」元気をもらって、笑顔いっぱいの子どもたちでした。

公園についた後は、お父さんと“たかいたかい”や“グルグル回し”で笑顔いっぱい！その後は、サッカーやしゃぼん玉、すべり台で一緒に遊ぶことができ、楽しくて子ども達の笑い声もたくさん聞こえてきました。

また、めばえでの食事の様子を見てもらうこともできました。

そんな、笑顔いっぱいのウォークラリーの様子をご紹介します。



行ってきま〜す！
お父さんとの手つなぎ、
うれしいな。



お父さん、
大きなしゃぼん玉
作ってね。



お父さん
だ〜い好き♡



給食おいしいよ。
野菜、食べれるように
なったよ。

どきんちゃんに、タッチ！！
まだまだ、頑張ってるよ。



みんな揃って
はい チーズ！



●みなみめばえ●

天気に恵まれる中、親子でウォークラリーやふれあいゲームを行ないました。お父さんと一緒に嬉しくて力強い脚取りで歩く子ども達。笑顔があふれる時間となりました。

また、『お父さん講座』と称してお父さん達に手作りのおもちゃを作ってもらい、子どもへプレゼントをしました。お父さんが作ってくれたということで、子ども達も大喜びで楽しみました。



元気いっぱい歩くぞ！

風が気持ちいいよ♪

ぐるぐる回し楽しいな〜！



ちょっと休憩♪
いっぱい歩いたよ！



お父さんと一緒に！
嬉しいな〜！



おもちゃを作るお父さん達
とても真剣な表情です。

お父さんが作ってくれた
ロケット飛ばかな〜？



ロータリーふれあい広場

7月26日（日）、掛川ロータリークラブ様招待によるふれあい広場が開催されました。今年も楽しい企画が盛り沢山で、素敵な夏の思い出ができました。満天の青空の元、お腹も心もいっぱいになりました！



この黄色いのが
ほしいんだよ～！！



絶対わるぞ～！！



ちょっと怖いけど
頑張るよ！！



民生委員さんとの交流

毎年、奉仕作業等でご助力頂いている菊川市民生委員の皆様。今年は、児童部の子ども達の元へ、遊びにきて下さいました。玉入れ、輪投げ、フライングディスク、グランドゴルフ、ホットケーキ作りなど、楽しい活動を沢山体験させていただきありがとうございます！温かい眼差し、優しい微笑みで見守って下さった民生委員の皆様のおかげで、子ども達も職員も穏やかな充実した時間を過ごすことができました。



はいれ～！



上手にひっくり
返しているね！



皆で記念に
ハイチーズ！！



一緒にやってみよう！



まず、ここに
ボールを置いて…



児童部 遠足

6月27日(土) 今年も森町の河川敷へ！！

天気予報は大雨…

「BBQできるかなあ…」

「川に入れるかなあ…」

と、不安がっていた子ども達。

しかし、みんなの思いがお天道様に届いたようで、当日は快晴！

児童部の仲間、実習生、多くのボランティアの方と一緒に

BBQや川遊びを思い切り楽しみました！！

皆と食べると何でも
美味しい～！！



大きい魚、とれるかな～

青年部 セタコンサート

7月7日(火)『明日への会』の方たちに学園に来て頂き、オカリナ演奏をして頂きました！

オカリナの優しい音色にとっても癒されました。

みんなが知っている曲ばかりで、一緒に歌ったり
マラカスを振ったりとノリノリで楽しみました！！



癒される～♪



とっても楽しいよ～



《 行事予定 》

<9月>

- 1日(火) 防災訓練
- 13日(土) 学園家族会スポーツイベント
- 26日(土) みなみめばえ運動会
東遠まつり説明会
学園家族会美化活動

27日(日) めばえ運動会

<10月>

17日(土) 西方地区祭典

18日(日) 掛川市ふれあい広場
西方地区祭典

24日(土) 菊川市ふれあい広場

<11月>

29日(日) 東遠まつり



—プール解放のお知らせ—

8月末まで学園プールを地域の皆様に解放しています。時間は9:00~16:30です。水泳帽子の着用にご協力お願いします。事故防止のため、保護者・家族の同伴での利用をお願いします。是非ご利用下さい。

7月4日(土)シルバー人材センターの方々に、学園内樹木の剪定、草刈り奉仕作業をして頂きました。とても綺麗になりました。本当にありがとうございました。

《 感謝の心 》

- 奥宮 貴志夫 様
- アピタ掛川店 様
- はなくらふとん店 様
- 掛川ロータリークラブ 様
- フジオーゼックス株式会社 様
- 菊川市シルバー人材センター 様
- 菊川市児童民生委員 様
- 伊谷周枝 様
- 栗下静江 様
- 鈴木瑞瑛 様



—苦情解決窓口より—

平成27年5月~27年7月まで組合各事業とも苦情はありませんでした。

こんなご意見・ご要望をいただきました。

※利用者さん同士のトラブルが続いた。そういう状況を回避できるように環境を整えて欲しい。
(短期入所 家族)

※利用者間トラブルが起こった時の報告・謝罪だけでなく、その後の経過の様子を教えてほしい。
(短期入所 家族)

※利用するとき薬や持ち物リストなど依頼されたので、準備し持たせているのに、確認を忘れていたことがあった。(短期入所 家族)

※保育所等訪問支援事業で、園に出向く日を当初の予定から変更したこと知らなかった。きちんと教えて欲しい。(児童発達支援センター 家族)

それぞれに対してご説明させていただきました。また、会議等で話し合い、改善していきます。貴重なご意見ありがとうございました。

編集後記

東遠学園は児童部の子どもを中心に、学校の夏休み期間は特に賑やかです。

子ども達の日課は、朝のラジオ体操からはじまり、学園内で各々の居室掃除、宿題、午後はプールや散歩、自由時間は虫取り、野球、図画工作を楽しんでいる子供もいます。それぞれが、暑さに負けず元気いっぱいに過ごし、自由時間は大いに体を動かし遊んでいます。

今年の夏もあと僅かです。児童部の子どもを中心に地域に出る機会も多くあります。「大きな声で挨拶しよう」が Motto です。プール開放もありますので学園にも是非足を運んで下さい。お待ちしております。

〔編集委員〕

妹尾和久 溝口奈美子
平出佳代 吉田博仁
石川史乃 萩原礼菜

東遠学園 児童部・青年部	〒439-0037	菊川市西方 4345-2	TEL:0537-35-2753	FAX:0537-35-2799
東遠地区生活支援センター支援担当	〒439-0037	菊川市西方 4346-16	TEL:0537-37-3995	FAX:0537-37-3996
相談窓口			TEL:0537-35-2971	
こども発達センターめばえ	〒436-0016	掛川市板沢 1941-35	TEL:0537-23-2312	FAX:0537-23-0008
みなみめばえ	〒437-1611	御前崎市新野 1877-7	TEL:0537-85-1200	FAX:0537-85-1201